



神さまの守りの中で
のびのび育つ子どもたち



宗教法人日本キリスト教団片瀬教会付属
片瀬のぞみ幼稚園
Katase Nozomi Kindergarten

片瀬のぞみだよ
り

2017年4月号

4月主題聖句

「あなたがたに平和があるように」

ヨハネによる福音書 20章 19節

牧師（設置者）磯部理一郎

片瀬教会付属のぞみ幼稚園の皆さま、ご入園、ご進級、おめでとうございます。本園はプロテスタントのキリスト教会である日本基督教団片瀬教会が設置運営するキリスト教の幼稚園です。したがって、キリスト教の精神、分けてもキリストの愛を拠り所として、日々保育や教育活動が進められます。キリスト教による人間観には二つの特徴があります。一つは人は神のいのちの息吹により創造されていると聖書は教えます。ひとりひとりのいのちと尊厳が豊かに輝くことを意識して人格教育にあたることを理想とします。神さまから直接分けたいのちに感謝をささげる礼拝が保育の原点となります。もう一つは、罪による破れです。誰ひとりとして完全な人はなく、誰もが皆、愛され、赦され、償われることを必要としています。そのため、教会も幼稚園もこどもも親も教師も、誰もが、愛と赦しを必要としています。神さまに愛と赦しを求め合う礼拝が、保育の出発点となります。

4月聖句「あなたがたに平和があるように」は、イエスさまが弟子たちになされた挨拶です。イエス・キリストがローマ帝国時代にエルサレム郊外ゴルゴダの丘で十字架刑に処せられ、息を引き取られたことは、誰もが歴史を通して知る所です。西暦30年4月7日金曜日午後12～3時でした。捕縛と処刑を恐れたペトロ等弟子たちは、イエスさまを見捨て逃げ去ってしまいました。そして、恐れ之余り、部屋に鍵をかけ、扉を固く閉ざして、隠れてひきこもっていました。ところが、驚いたこ

とに、突然、十字架で死んで復活したイエスさまが、弟子たちの真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と語りかけて、平和の挨拶をなさったのです。十字架から三日目の日曜日の夕方のことでした。

「平和」（新共同訳聖書）ということばは「安かれ」（口語訳聖書）「平安」（新改訳聖書）とも訳されヘブライ語の挨拶「シャローム」に由来します。無事、安全、平和、安心、安息など幅広い意味があるようです。ただ意味深いことに、挨拶に用いられるように、「関係」や「間柄」を強く示すことばでもあります。「人と人」の関係性、そして何よりも「神と人」の関係性に注目し、その関係に、幸い豊かな祝福が溢れていることを意味します。つまり人格の間に幸い豊かな祝福の関係が相互に確立されたことを表します。イエスさまは、ご自分を見捨て逃げ去った弟子たちに向かって、新しい希望に溢れた幸いと祝福の関係が固い絆として生まれたことを宣言したのです。弟子たちは、罪赦され新たな祝福と使命を背負って、世界へと旅立つ時を迎えたのでした。

弟子たちは、イエスさまに罪赦され、復活の勝利と祝福のもと、新しい希望の旅立ちを迎えました。裏切りと恐れの中で、部屋に鍵をかけ扉を固く閉ざしていた弟子たちに、イエスさまは復活の栄光をもって、勝利と希望に溢れた新しい時代の始まりを告げました。イエスさまからの挨拶「あなたがたに平和（平安）があるように」は、弟子たちだけではなく、世界の人々への挨拶でもあります。世界の人々の間に、世界の国々の間に、神の幸いと祝福、赦しと希望とが溢れるようにと、新しい命の息吹を吹きいれたのです。どうか、のぞみ幼稚園の隅々に、神の平和が浸み渡りますように、と祈ります。すべての園児、保護者の皆さまに、そのおひとりおひとりの魂の隅々に、神の平和が満ち溢れますように、と重ねて祈ります。

磯部理一郎のプロフィール

今春4月より、日本基督教団片瀬教会牧師（付属のぞみ幼稚園設置者）として着任いたしました。どうか、皆さまのお仲間にお加えいただき、楽しい園生活を共に分かち合いたいと願っております。よろしく願いいたします。

鎌倉湘南で生まれ育ち、片瀬は幼い頃の遊び場でした。鎌倉学園出身です。東京神学大学大学院（キリスト教神学）、和歌山大学大学院（教育学と心理学）、大阪市立大学大学院（神経心理学）に学び、頌栄女子学院、横須賀学院、明治学院大等で教壇に立ち、特別支援教諭コーディネーター、園長理事長、また東京、九州、和歌山の諸教会の牧師を経て現職。